

キタ！からきた



だより

第147号

※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。
kitasibu2012@yahoo.co.jp 大阪北支部宛

「こんなところに社会福祉士がいた！」

<大阪北支部・会員リレー紹介 035> レポーター（藤原恵子）



今回、ご紹介させていただく中山智津子さんは特別養護老人ホーム「サンローズオオサカ」に勤務されています。施設の生活相談員の仕事に就いて5年目の中山さんですが、今年5月に出産されたばかりで、現在は育児休暇中です。

「サンローズオオサカ」に入職する前は、全国各地への転勤がある観光会社に勤務されていたそうです。出身地である大阪に戻り、現在の施設に転職した当初は、総務課で数年、事務の仕事をしてきたとのこと。同じ施設で働く生活相談員の退職に伴い、上司の勧めもあって、社会福祉士の資格に興味を持ち、仕事をしながら通信制の養成施設で学んで資格を取得されたとのことでした。



中山さんが担当する主な業務は、ショートステイの相談対応から契約、利用日程の調整、アセスメントした内容を介護福祉士などの現場スタッフと共有すること。他にも、虐待案件などの緊急利用の相談にも対応されているそうです。

生活相談員として、中山さんが大切にしていることは「決して本人を不在にしないこと」。ご家族やケアマネージャーからの話ばかりに集中するのではなく、本人の存在を忘れずに、例えば上手く話せなくても、しっかり本人の思いに耳を傾けることが大事と、お話をされていました。

仕事復帰の時期は来年5月頃の見通しとのことですが、中山さんが抱く今後の夢は、「育児と仕事の両立」。育児も仕事も充実させて、これからも無理なく頑張っていきたいとの意気込みをお聞きました。

研修会レポート『認定審査会ってどんなところ？』 2022/09/10



大阪社会福祉士会の公職委員推薦でもある、介護認定審査会及び障がい支援区分認定審査会について、どんなことをしているのか？どうすれば委員になれるのかなどを幅広く支部会員に知っていただくため、大阪北支部・大阪南支部で初となる協働開催の研修会をオンラインで実施しました。

当初は、北支部と南支部の支部会員のみでの参加資格で進めておりましたが、ホームページ等を見られ他支部や他県士会の会員からも「ぜひ聞いてみたい」「なかなかない機会なので今回学びたい」との声を多数いただき、急遽参加資格を限定せず実施したところ、36名での研修会となりました。

本会が当該審査会委員を推薦する目的から始まり、大阪市の審査会委員推薦状況、委員決定までのプロセス、推薦の基準などを皆、真剣に聞いておられました。また、審査会の実際場面では、映像資料等も使用しながら審査会の構成メンバー、使用する資料の理解の仕方など基本的な事項に加え、何より『初めて審査会委員としてデビューする時の心得』など現任者ならではの伝授や『社会福祉士としての視点』として、何を大切にして審査会に臨むことが求められるのか？といった大切な視点を学んでいただけたと感じています。

今回研修は現任者研修ではなく、幅広く支部会員の皆様に興味関心を持ってもらうことを主眼におき実施したため、本研修の満足度は高く、基礎研修Ⅲの修了を改めて目指すといった感想もあり、本会の発展ならびに透明性のある委員推薦の一助となった研修会であったと思います。

今後の目標としては、本研修の継続化や現任者のスキルアップ、情報共有などもおこない審査会にとって社会福祉士の必要性を高めていければと思います。

★令和4年2月より、大阪北支部の公式LINEアカウントの運用が開始されています。

現在は、大阪北支部会員の80名以上が登録済み。いち早く情報をGetしよう！！

LINE「友だち追加」からID検索「@712abvel」するかQRコードをスキャンしてください。

